

平成 22 年度事業活動報告書(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

1. 車いす事業

総参加数(延べ)

整備 336 名、集荷ボランティア 45 名、旅行者 238 名、コーディネーター 61 名

- ・今年度は 132 台を送り出した。通算 74 カ国に 1986 台の車いすを届けた。(新規 5 カ国:スリランカ・ミクロネシア・カメルーン・メキシコ・エクアドル)
- ・車いすの提供は約 100 台、札幌通運株の協力を得ながら集荷ボランティアが集めている。

2. 車いすサミット in ニセコ

平成 22 年 9 月 3～5 日に日本各地で車いすを海外に送るという活動を行っている 8 団体で「車いすサミット in ニセコ」を倶知安町にて開催した。その中で、「車いす整備」「身体に合った車いす」「アフターケア」などのテーマで話し合った。(秋山記念生命科学振興財団の助成支援による)

3. タイ・スタディーツアー

平成 22 年度のスタディーツアーでは 10 名(会員 8 名、非会員 2 名)がタイを訪問した。ビルマ(ミャンマー)との国境沿いにある町メーソットに行き、メータオ・クリニックを訪問した。バンコクでは仲介団体である AADP(Aid to Asian Disabled Peoples)の協力を得て、障がい者フォーラムを開催した。

4. 寄付金・助成金

寄付金

- ・ Johnson&Johnson
- ・ 札幌信用金庫

助成金

- ・ 秋山記念生命科学振興財団
- ・ 地域貢献活動支援事業(2011 年 2 月～2012 年 1 月)

5. 広報活動

- ・ 会報「とべとべ」の発送(年 4 回、47 号～50 号)。1000 部作成し、会員・旅行者・提供者・寄付者・その他関係者などに各回約 500 部を発送した。
- ・ ホームページやブログなどで情報を発信した。(昨年度のブログ更新回数は通算 74 回)
- ・ 活動紹介のための講演会を行った
(札幌市立大学・藤女子大学・北海学園大学・北海道 NPO サポートセンター・札幌市老人クラブ連合会)

6. その他

- ・ 認定 NPO 法人を取得した。
- ・ インターンシップの受け入れを行った(計 14 名)
(札幌国際大学、北海学園大学、北海道 NPO サポートセンター、株式会社パソナ)

7. 会員動向(平成 23 年 3 月 31 日時点)

総数 474 名

正会員(一般) 142 名

(学生) 35 名

賛助会員(一般) 281 名

(団体) 16 名